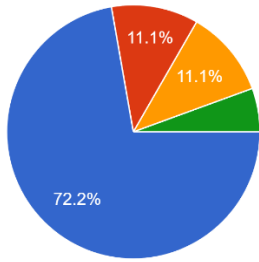


参加者アンケート結果

今回のセミナー開催をどのようにして知りましたか？
18件の回答

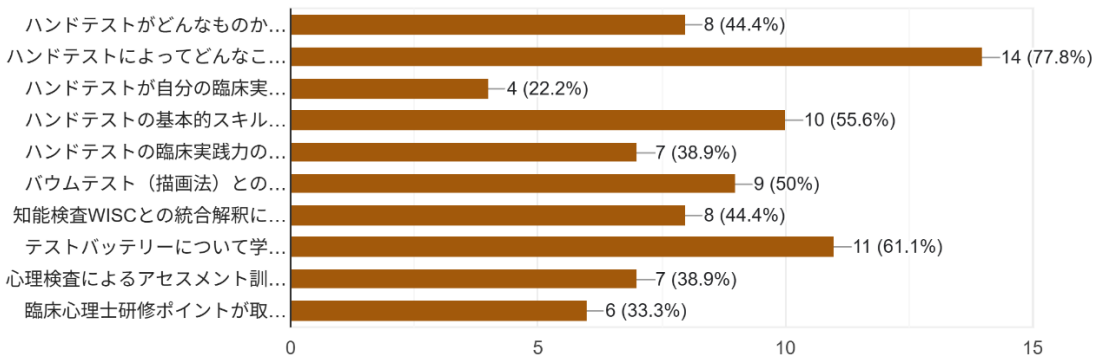
アンケート回答者数 18
(セミナー受講参加者数 21名)



- 会員への開催案内メール
- 日本ハンドテスト研究会のWebページ
- 日本ロールシャッフ学会のWebページ
- 本研究会会員からの紹介
- 会員以外の知り合いからの紹介
- 臨床心理士・公認心理師研修会情報サイト

Web ページや会員紹介によって情報を得ている方もいらっしゃるのでは、引き続き開催案内方法について、計画していきたいと思っております。

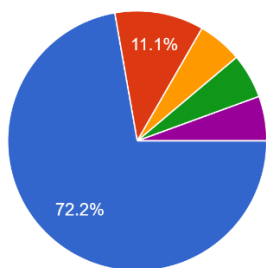
今回のセミナーに参加された理由を全て選んでください。
18件の回答



選択肢の全文は以下になります。ハンドテストによるアセスメントの実際を知りたいという要望が多かったようです。また、今回テーマとしたテストバッテリーに関する研修や、ハンドテストのスコアリングに関する基礎講習も需要がありそうです。引き続き、検討していきます。

- ハンドテストがどんなものか興味があった
- ハンドテストによってどんなことがアセスメント(事例理解)できるのか知りたかった
- ハンドテストが自分の臨床実践に使えるか確かめたかった
- ハンドテストの基本的スキルについての研修を受けたかった
- ハンドテストの臨床実践力のブラッシュアップがしたかった
- バウムテスト（描画法）との統合解釈に興味があった
- 知能検査 WISC との統合解釈に興味があった
- テストバッテリーについて学びたかった
- 心理検査によるアセスメント訓練を受けたかった
- 臨床心理士研修ポイントが取得できることが魅力だった

午前の基礎研修（事例アリスの検討）についての感想を教えてください。
18件の回答

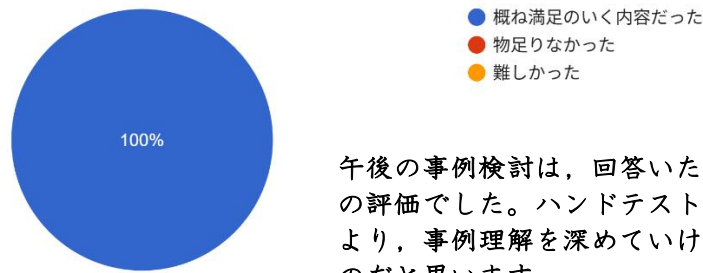


- 概ね満足のいく内容だった
- より基礎的なスコアリング法について学びたかった
- より詳しい解釈を学びたかった
- スコアリングのヒントについてのスライドをいただけると、幸いです。
- 午前中は参加できませんでした。

基礎研修については、スコアリング法や解釈法についての基本的な研修について、開催方法を検討していきたいと思っております。

午後の事例研修についての感想を教えてください。

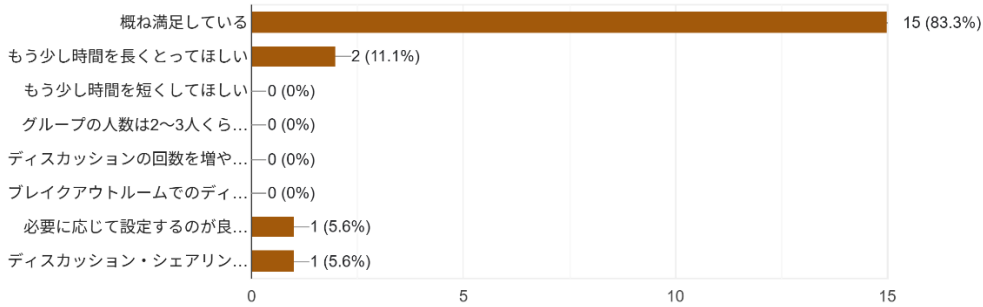
18件の回答



午後の事例検討は、回答いただいた方全員が概ね満足との評価でした。ハンドテストによるテストバッテリーにより、事例理解を深めていけることを体験してもらえたのだと思います。

ブレイクアウト・ルームでのディスカッションにつ... (当てはまるものすべてに☑を入れてください)

18件の回答



選択肢の全文は以下になります。今回、ファシリテーターをお願いし、2回にわけてディスカッションの時間を作りました。引き続き、どのような方法が可能か、検討していきたいと思えます。

概ね満足している

もう少し時間を長くしてほしい

もう少し時間を短くしてほしい

グループの人数は 2~3 人くらいが良い

ディスカッションの回数を増やしてほしい

ブレイクアウトルームでのディスカッションは無くても良い

必要に応じて設定するのが良いと思えます。

ディスカッション・シェアリングの中で多角的にケースを捉えることができました。

セミナーの感想, コメント
<p>実際の事例を提供して下さり、実践的な学びの時間を得ることが出来、ありがとうございました。</p>
<p>テストバッテリーを組むことでクライアントを様々な側面から理解することができ、その後の面接にも繋げやすくなるということを改めて学ばせていただきました。ありがとうございました。</p>
<p>ユング的な考察もあって、興味深かったです。</p>
<p>構造分析に基づくケース理解、アセスメントの統合について、引き続き研修で取り扱っていただけると嬉しいです。</p>
<p>PF スタディとハンドテストのテストバッテリーで、解釈がどう異なるか、ぜひ知りたいです</p>
<p>初参加でしたが、午前中と午後で事例をもとにしながら理解ができるようになってとても充実した時間でした。ありがとうございました。とりあえず自学のためにテキストを購入してみたいと思います。</p>
<p>複数のテストが補い合って、クライアントの全体像が浮かび上がる醍醐味、奥深さを追体験する感じでした。逆にいうと、ひとつのテストだけで（ハンドテストだけで）連想をしすぎたり、断定的なアセスメントにならないよう気をつけなければならないと思いました。</p> <p>精神科での検査で、知能検査+バウムテスト+SCT+ハンドテストを行う機会がありましたが、個々の結果は並べられても総合的な解釈を述べるのが難しく停滞しています。構造分析理論に当てはめて各検査が焦点を当てている場所をきちんと知ること、各検査のギャップを探してみるなど、今日の研修でヒントを得たような気がします。ありがとうございました！</p>
<p>大変勉強になりました。スコアリングの仕方についても、適宜コメントやご指摘を挟んで下さったことで、リアルタイムで理解を深めることができました。また午後の事例に関する先生方の総合解釈につきましても、まだまだ私の理解が追いつかない面もありますが、大変勉強させていただきました。ありがとうございました。</p>
<p>午前・午後ともに中身の濃い勉強をさせていただきました。</p> <p>アリスの事例では、HTPの木は外国ならではの木の選び方(針葉樹)か？人物の目は日本人ならば瞳の周り(虹彩)は描かないがよくあることなのかなど少し違うところに興味が行きました。</p> <p>午後の華子さんの事例は小学校ではちょくちょくお目にかかります。参考にさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>・参加者の先生方の所属より、司法臨床の場でもよく活用されていることも知りました。ハンドテストが、フィードバックと馴染みが良いというのは、FSの側面を主に捉えるため、被験者自身とも共有しやすい、といったこともあるのかと思いました。アセスメントで被験者の見て感じている世界と一緒に体験し、それを可能な範囲で共有するフィードバックにより対話していくということが、テストがセラピーになり得るということだと、改めて感じました。</p> <p>・まずは、スコアを正しくできるようになりたいと思っていますので、迷った時のスコアのコツも、前後の文脈も踏まえてメインのスコアを決める等、大変勉強になりました。グループディスカッションも、疑問点が重なったり、自分では気づかなかった視点でのご意見を聞けたり等、良かったです。</p>
<p>テストバッテリーは実際にどの検査を組み合わせるかが難しいと感じるので、投影次元の解説は非常に参考になりました。複数の検査から得られる共通点、相違点を整理することで、根拠のあるフィードバックができそうだと改めて思いました。</p> <p>また、日常の臨床では事前の情報が少ないままオーダーが来ることも多いので、少ない時間でも別途聞き取りを行ったり、行動観察をしっかり行うようにして検査に臨みたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p>

セミナーについての要望等

テキストに掲載されている事例を改めて検討する試みが良かったです。じっくり掘り下げて読め込めて勉強になりました。書籍に掲載されてる他の事例の再検討もやってみたいです。

初めての参加でしたが、とても勉強になりました。会員ですが総会に参加できず申し訳ありません。緊張しますが、また勉強会の機会があれば、積極的に参加させていただきたいです。ありがとうございました。

今回説明の中にあつた構造分析理論の考え方のスライドなど、個人情報以外の部分で、もし、可能であれば資料のデータでの配布をしていただけると嬉しいです。ご検討いただければと思います。

・引き続き、テストバッテリーのあるケースを学ぶ機会があると嬉しいです。アリスの事例でのロールシャッハもまた機会があれば、是非取り上げてほしいと思いました。
・初めて参加させて頂きました。大変学びになりました。ご準備頂きました先生方、貴重な事例を提供頂きました先生に感謝申し上げます。ありがとうございます。

参加者の皆さんはさまざまな領域で活躍されているので、自分が経験していない領域のケースも検討してみたいです。